

10th Anniversary



「対応」から「適応」へ

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会



目次

ごあいさつ

会長 篠原 充 ……2

祝辞

北杜市長 渡辺 英子 ……3

国立環境研究所 江守 正多 ……4

山梨県地球温暖化防止活動推進センター センター長 増田 直広 ……5

沿革 ……6

写真で見るグリーン北杜の10年 ……7～11

みんなのあいさつ ……12～14

ご挨拶



グリーン北杜会長 篠原 充

この度グリーン北杜 10 周年記念として、みどり～む増刊号を発刊することとなりましたので、ここにご挨拶申し上げます。

グリーン北杜(正式名称「北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会」)は、平成 10 年に「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 26 条によって各都道府県に設置することを目的とした「地球温暖化対策協議会(法律の名称)」として、行政、市民、市内企業・団体によって構成・設立され、環境省に登録された団体であります。設立後は、市内における地区又は小・中学校への講師派遣による環境学習やイベントの開催、日常生活における CO₂ 削減のための普及・啓発活動、市内自然環境の保全活動などを、積極的に行ってまいりました。おかげさまで会員数は現在 56 名(内、個人会員 21 名、団体 8 名、企業 27 名)となっておりますが、今もなお様々な活動の場での貴重な出会いを通じて、新規会員として加入される仲間たちも大勢おります。どうか本誌をご覧ください趣旨にご賛同された方は随時会員の募集を行っておりますので、当会への積極的な参加・加入をお願い申し上げる次第でございます。

さて、地球温暖化の問題が叫ばれてから久しいわけですが、未だ世界は CO₂ 削減の真の理解に基づくルールが定まっておられません。そんな中、もはや対策を施しても、手遅れであるということが判明しました。そして日本政府も、温暖化適応策を示し温暖化対策と同時進行させる策を打ち出しました。“対応”から“適応”です、この言葉を決して軽く聞き流してはいけません。これから起こるであろう、気候変動による自然災害、感染症の拡大、農作物や魚介類の不作・不漁の被害など、全国の自治体はそれぞれ地域の特性に応じた適応策の計画を立てることを迫られています。そして市民も個人個人が行動を起こさなければならないのです。

ずいぶんと厳しいことを申し上げましたが、そこまで地球温暖化の影響が深刻な事態となっているからにほかなりません。

私たち大人は、今を生きる子どもたちの未来のために、今こそ本気になって取り組んでいかなければならないのです。

ここで、グリーン北杜からメッセージを添えて結びといたします。

“[適応]・・・それは、悠久の時を経て地球上の生き物たちが姿かたちを変えながらも命をつないできた・・・まるで進化の様に、我々人類を生かしてくれるものとなるのでしょうか・・・？それとも、且つて王者として君臨した恐竜のように、劇的な終焉を迎えるのか！？・・・”

我々人類の・・・王者の王者たる決断の采は今まさに投げられたのです・・・。

私たち市民が、これから取り組むべき温暖化対策・適応策、それは大人たちが我慢をすることです。人の欲は、人それぞれです。様々ある欲は、時として互いに融合したり、衝突し合ったりして人の一生を高めたり、歪めたりもします。これも人間が感情の生き物である所以です。しかし、人間はその感情があるからこそ生物の多様性を許し、認めたのです。そして、あらゆる生き物のために我慢をする決断をしたのです・・・CO₂ 排出削減の取り組み・・・、あなたは何を我慢できますか・・・。”

最後に、10 周年が迎えられたことに感謝申し上げますとともに、大勢の皆様に環境保全活動や日常生活の取り組みの輪が広がって行くことを祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。

グリーン北杜 10 周年おめでとうございます。



北杜市長 渡辺 英子

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会におかれましては、普及啓発活動を中心とした市民レベルでの温暖化防止対策及び地域資源を活用したクリーンエネルギーの促進や、地域資源の掘り起こし等によるグリーンツーリズムの運営に取り組んでいただき、厚く感謝を申し上げますところであります。

また、この会が 10 周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。あらためましてそのビジョンの実現に向けたチャレンジを応援しております。

私たちの日常生活や経済活動は、化石燃料エネルギーに依存し、今まで豊かで便利な社会生活を享受してきました。その一方において、資源の枯渇や地球温暖化問題は、全世界共通の喫緊の課題となっております。

北杜市といたしましても、「第 2 次北杜市環境基本計画」を平成 29 年度に策定し、将来につなげる杜づくりとして環境学習の推進をする中で、環境学習会の実施や子ども環境フェスタ等の参加・体験型のイベントを通じて次世代を担う子ども達に、興味をもてるような企画を考え、環境問題や環境保全を楽しみながら学べる取り組みを地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会と共に行っております。

現在、再生可能エネルギーの導入を推進しているところでございますが、地球環境問題や、エネルギーを取り巻く状況の変化、東日本大震災や、昨今の熊本・大分地震を教訓とする災害への備えにも配慮し、地球温暖化等の課題に対する本市の取り組みを内外に発信するとともに、「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現と、「市民一人ひとりが輝ける“愛でつながる北杜市”」を目指し、市民に誇りを持っていただけるまちづくりに務めてまいりたいと思います。

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会会員の皆様方には、引き続き、環境行政へのより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

グリーン北杜 10 周年おめでとうございます。



国立環境研究所 江守 正多

山梨県が「CO₂ ゼロやまなし」を掲げていらっしゃることを僕が知ったのは3年ほど前のことで、正直に申し上げて、たいへん驚きました。地球温暖化を止めるためには最終的にCO₂ 排出ゼロが必要であるという科学的な認識が、当時それほど市民に受け入れられているとは思わなかったためです。この点に関して、山梨県の先進性には本当に頭が下がる思いです。

そのCO₂ ゼロの実現に向けて、北杜市は、少なくとも2つの大きなポテンシャルを持っていらっしゃいます。一つは豊かな森林と水の恵みであるバイオマス。もう一つは日本一を誇るともいわれる日照の恵み、太陽光です。ところが、この両者が、ともすると対立してしまうという状況があったことを伺いました。

バイオマス利用を推進する方たちと、太陽光発電を推進する方たち、それぞれに思いや状況がおありだと思います。しかし、CO₂ ゼロやまなしの実現のためには、両者をともに最大限に活用しなければならないことは明らかです。様々な立場の方が丁寧に対話されることでお互いの思いを理解し、共通のビジョンに向かって前進していかれることをお祈りいたします。

北杜市が脱炭素自治体の先進事例として、国を、そして世界をリードしていただくことを期待しております。

グリーン北杜 10 周年おめでとうございます。

山梨県地球温暖化防止活動推進センター センター長 増田 直広

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会（以下、グリーン北杜）が設立 10 周年を迎えられたこと、おめでとうございます。お祝いを申し上げますと共に、関係者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。キープ協会は当初から協議会に加えていただいておりますし、個人的にも地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）でもあったため、皆様とご一緒させていただく機会がありましたが、地球温暖化防止や地域の環境のために頑張ろうという思いや行動力にいつも刺激をいただけてきました。

また、キープ協会は山梨県より指定を受けて、2015 年度から山梨県地球温暖化防止活動推進センター（以下、県センター）としての役割を担っており、県内の推進員の皆さんや地域協議会の皆さんと連携しながら、山梨県ならではの、あるいはその地域や各個人ならではの地球温暖化防止活動を進めていただくためのきっかけ作りや教材作りの取組みをしています。その役割を担当するようになって、改めてグリーン北杜と関わる皆さんの行動力を心強く実感しています。地球温暖化防止活動や環境教育においては地域での活動が大切となりますが、その際に地域協議会の役割は非常に大きいと考えます。地域協議会には、地域の推進員や関係団体、教育機関など多くの主体をつないでいくことや具体的な地球温暖化防止活動の取組みを動かしていくことなどが求められますが、グリーン北杜は設立当初からそれらの役割を果たされています。多くの活動の中でも、北杜市と共に取り組む「北杜市子ども環境フェスタ」は地域における環境教育の見本となるもので、県内の推進員の皆さんにも参加を呼びかけているところです。

キープ協会では「環境問題解決のために、自分で考え自分で行動できる人を育てる」ことを目標とし、八ヶ岳南麓の豊かな自然を舞台として 30 年程前から環境教育を実践しており、2015 年度からは県センターの役割を重ねて取組みを続けています。子ども達の未来のために各種取組みをされているグリーン北杜とキープ協会および県センターは同じ方向を向いていると思います。これからもその行動力を通して、地球温暖化防止活動推進や北杜市内のエネルギーや森林に関する諸問題への取組みを続けていただくと共に、山梨県における活動活性化にご支援いただければ幸いです。グリーン北杜および関係者の皆さんの今後のご活躍を祈念しています。

沿 革

- 平成 19 年 12 月 20 日 発起人会の発足。
本市内の地球温暖化防止活動推進員及び団体、並びに市環境課の合計 14 名で発足しました。
温暖化対策及びクリーンエネルギーの利活用を進める上では、市内の各主体が横断的な連携を築く中、私たちふるさと自らが、その人材資源及び自然資源などの財産を活かし、協働組織として一丸となった実践が大切であることを確認し、本協議会発足となりました。
- 平成 19 年 12 月 26 日 発起人会代表、実務者会議の開催。
- 平成 20 年 1 月 18 日 発起人会代表、実務者会議の開催。
- 平成 20 年 1 月 24 日 設立準備会の発足
本市内の地球温暖化防止活動推進員及び団体、事業者並びに市環境課の合計 24 名で発足しました。
本協議会の構成・規約・活動内容を検討しました。
- 平成 20 年 1 月 30 日 設立準備会正副代表・県温暖化防止センター・実務者会議の開催。
- 平成 20 年 3 月 6 日 設立準備会第 2 回の開催。
規約・会員規定・事業計画・予算・会員募集について検討し、案の決定をしました。
- 平成 20 年 3 月 6 日～21 日 会員募集。
- 平成 20 年 3 月 28 日 設立総会。会員数 96 名で設立。
- 平成 20 年 3 月 28 日 北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会の通称名に「グリーン北杜」使用開始。

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
① 温暖化対策部会 ② クリーンエネルギー推進部会 ③ 北杜グリーンツーリズム部会 ④ 本部	【調査事業】一般家庭の太陽光発電システムの設置数調査、小水力発電設置数調査、環境家計簿調査 【普及啓発事業】脱温暖化セミナー開催、家庭アクションプラン作成等 【本部】理事研修会実施（エコプロ見学）	環境学習会 市内小中学校 他（65 回）											
		親子植林 マイはし 工作教室	自然環境保全活動事業 「外来種見つけた！～靴底をきれいに～」 泥落としマット設置、オオキンケイギク駆除									北杜サイト太陽光発電所ガイド事業	
			市内太陽光発電設備導入状況の調査（住宅用以外）	地域資源発掘調査事業	小水力可能性調査事業	地域活性化“資源発掘事業” ～河川流域環境踏査・小水力発電可能性調査～ ～市内温泉施設（市所有）の温水熱利用可能性調査～ ～北杜市内自然エネルギー実態調査～							
		グリーンツーリズム事業 北杜の宝 ～水・森・自然の恵み～発見？体験！ツアー	グリーンツーリズム事業 北杜の宝 ～水・森・自然の恵み～発見？体験！ツアー	グリーンツーリズム事業 （ナイトハイク、たきびツアー）	環境展示会見学バスツアー開催 グリーンツーリズム事業 再考“北杜の水”巡り グリーンツーリズム事業 再考“北杜の森”巡り								
	清里スターフェスティバル開催	オオムラサキの日フェスタへのブース出展協力 「ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン」への協力 「ほほえみふぉーらむ」への協力											
	広報誌みどりーむ	「北杜グリーンカーテンプロジェクト」へ協力 子ども環境フェスタ・子ども環境標語コンテスト									「協力事業」どんぐりパンク元気を里山つくりでのミニ太陽光パネル、ソーラークッカー体験	江守正多氏講演会開催	ホームページリニューアル

温暖化対策部会

自然環境保全活動事業「外来種見つけた！～靴底をきれいに～」



温暖化対策部会

環境学習会開催事業



オオキンケイギク駆除



北社グリーンツーリズム推進部会

ナイトウォーク・明野ひまわり畑

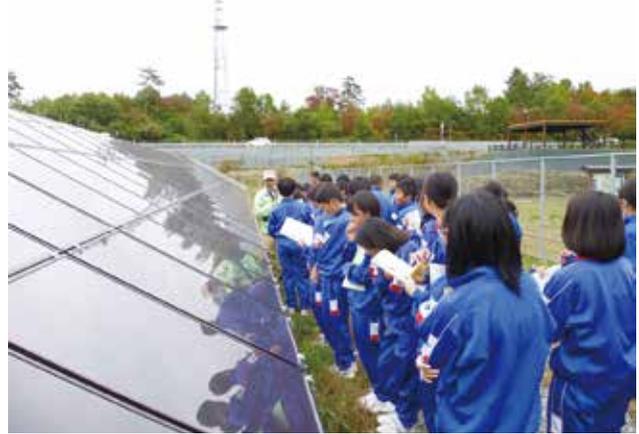


東京エコプロダクツ・見学バスツアー



クリーンエネルギー推進部会

北杜市委託事業・北杜サイトガイド



小水力発電地点調査



本部・全体イベント

地区イベント出展・高根まつり



関係団体支援事業・オオムラサキセンター



子ども環境フェスタ in 北杜〜子育ての杜〜開催事業



北杜グリーンカーテンプロジェクトへの協力活動



グリーン北杜10周年おめでとうございます。

鳥屋尾 健

グリーン北杜は、温暖化防止の視点から「持続可能な社会作り」へ向かっている。
環境・福祉・農・食・子育て・教育・まちづくり・エネルギー……どの視点で動いている人もみな同じ方向をみている。
SDGsの国際的な大きな流れもある。娘は今10歳。2050年、今の自分と同じ年になる。
今の時代に命のバトンを受け取ったものとして日々できることを一步一步。

「ヤマネを守ることは、森を守ることにつながり、
みんなを守ることにつながる」(湊秋作)

ヤマネは、様々な木々のある豊かな森がないと生きられません。
人もまた、たくさんの自然の恵みがあってこそ命をつないでいけます。
ヤマネや森に象徴される自然を守ることは、私達と未来の世代の暮らしを守ることでもあるのです。



一人一人の行動で地球温暖化の防止を。

矢崎 茂和

今日、地球規模での最大の課題は、地球温暖化と核開発による地球の破壊が進んでいる事ではないだろうか。
美しい地球を守り、安心して生活するために、全世界の人民が真剣に考え行動をおこすことが何より大切である。
どんなに小さな灯火でも一端火が付くと広野を焼き尽くすことは可能であるように、私達が行なっている温暖化防止の活動もほんの一握りに過ぎないが、大切な地球を守り、未来の子供や孫達が安心して暮らせるために一人でも多くの仲間と連携して地道な活動を進めていくことが大切ではないかと老婆心ながら思う。

「宝物を探す」旅

浅川 初男

グリーン北杜に参加して、合併まもない、広大な市でありながら、北杜市の将来をになう子どもたちが、市行事に参加できるシステムがないことを知りました。市行事に参加できないのであれば、「創れば良い」からはじまり、「子ども環境フェスタ」をグリーン北杜の仕事として始めました。

市内の子どもたちが、全員参加できるようにと、市内の小学校対象に「環境標語コンテスト」がはじまり、さらに、多くの親御さんも参加できるようにと「子ども環境フェスタin子育ての杜」として、未就学児童も対象に規模を広げて、高根体育館全面を会場に、こどもたちを中心とした、体験ブースを設置して、北杜市の特徴や将来・環境について、考えるフェスタを創り上げています。

地域が輝く未来像

草野 香寿恵

市民レベルの実働組織として設立された地域協議会は早10年。設立当初から関わった一人として、この10年は、各地域の事情に対応し効果的な取り組み・地域ぐるみの実践・家庭での省エネ取り組み・クリーンエネルギー、代替エネルギーの創出など様々な取り組みを会員と共にできた事は、私たち協議会の誇りでもある。今後の取り組みとしては、自然環境や生物多様性に配慮した地域づくり、地球温暖化緩和・温暖化適応策等。また、SDGsを踏まえた持続可能で魅力ある地域を構築する事ではないかと考える。

グリーン北杜10周年を迎えて思うこと

渡辺 正己

私がグリーン北杜での活動を始めたのは北杜サイトの太陽光発電所の見学の案内からです。

この会は、北杜サイトの施設案内だけではなく小・中学校の環境学習や養護施設の環境学習等を行っていて、更に、11月には子ども達のために環境フェスタにも参画しています。最近では外来種(オオキンケイギク)の駆除活動も参加しています。

私はこれからも環境問題について取り組んでゆきますが、今、私が気掛かりなことは地球温暖化防止のために北杜市民の方たちにどのように理解していただくかです。温暖化を阻止しないと未来ある子供たちに大きな負の遺産を残すことになるからです。

北杜市民の方たちには目の前の利益ばかりを考えずに50年後・100年後その先のことも考え未来ある子供たちに、明るい未来を残すための協力をお願いしたい。

グリーン北杜のメンバーと知り合ってから早10年。

八巻 美弥子

グリーン北杜のメンバーと知り合ってから早10年。途中入れ替わりもありましたが皆良く知る人となりました。メンバーががちりスクラムを組んでいるのは、これをまとめるドン・篠原会長の力による所多大なものがあります。団体を率いる裏にある見えない努力とご労苦に感謝申し上げます。会長を囲む諸々はこれ又皆揃って使命感に燃えた気の良い基本真面目な人ばかりです。あまり実働していない私も仲間に入れて頂いています。未筆ながら市役所担当者の方々にもお礼申し上げます。

体験を通じて環境に関心を持ちました

小泉 徹

保育園児のときは、子ども達だけで通園し、小学校の時もよく『みちくさ』をしたものでした。この時の体験が今も自然との係わりの元となっているような気がします。グリーン北杜の活動は、あれから4、50年経った今、失われたもの、守りたいもの、今は見えないけど将来起こる事など会員の人達にすべて教えていただくという10年でした。

個人的には、孫も生まれ、その笑顔を見る度『未来の地球』を益々しっかり残さなければと思っています。

特定外来生物、地球温暖化、生態系の変化など、今活動しなければ、元に戻すことも止めることもできないと知り、一人でも多くこの活動に参加してほしいと願っています。10年前には、今の状況など想像もできなかった私ではありますが、これからも未来の10年を考え、今できることを一つ一つ地道に活動を続けていきたいと思えます。

グリーン北杜で 10 年

松本 雅明

国連で具体的に地球温暖化対策が始まったのが、1997年の京都議定書(COP3)からで、わが国でも温暖化対策推進の法整備が行われました。グリーン北杜はこの法律をうけ地域協議会として2008年に設立され10年間活動してきました。当初は多くのテーマを元に分科会が設置されましたが、現在は三つに絞り込まれ各部会を超えてメンバー全員が協力する体制となっています。私もこの協議会に2009年2月に参加して古株の部類に入りましたが、地球のあちこちで頻りに起こっている温暖化現象を見るたびに、危機感を募らせています。

現在、パリ協定をもとに参加各国のCO₂削減枠組み協定が決まり、2020年から各国のCO₂削減目標が批准されスタートしますが、この間も着実に温暖化は進行しており、2030年までに2010年のCO₂排出量が目標の45%削減されたとしても負のサイクルに入ってしまう可能性が高くなっています。

私達グリーン北杜ではこの10年間、これらの状況を踏まえ私達ができる活動を議論し、地道に活動してきました。そして今後もこれからの時代を担う子供たちを中心に北杜市民へ、地球温暖化の実情と私達が出来る対策を提案し具体的に活動を行なっていきたいと思えます。

2030年までの10年が、地球が死の星へ突き進むか、踏みとどまるかの分岐点であり正に正念場になると思えます。私達は子孫に豊かな地球環境を引き渡していく義務があるのではないのでしょうか。

世界の地球温暖化防止活動の新たな展開を見る

地球の温暖化防止運動は、2015年世界の大多数の政府・団体の合意の基、COP21パリ協定へと新たな段階へと発展させた。パリ協定はインド、中国も含めて、産業革命以前からの地球の平均温度の上昇を、2℃よりも十分低く1.5℃以下を目指す。今世紀後半には温室効果ガス排出量ゼロを目指すとした。

こうした動きに世界の人達の関心は大いに高まり、産業界、各国政府にも新たな急激な潮流の変化が沸き起こって来ている。例えば2017年世界4大石油メジャー英国BP社は太陽光発電事業に再参入すると発表した。これは、太陽光発電、風力発電のコストが劇的に低下しているため、更に**技術革新**が進めばまだまだ普及するだろうと言われている。

また、国際環境NGO「RE100」の活動をご存じだろうか。この団体は、**事業運営を100%再生可能エネルギーで調達する目標に掲げる企業**が加盟する組織で、2014年に設立し活動を始め、2018年1月28日時点で世界全体で122社が加盟。アップル、グーグル、マイクロソフト、GM、BMW、P&G、コカコーラ、ネスレ、ゴールドマンサックス、イケア、ナイキ、等。日本からはリコー、積水ハウス、アクスルと少ない。ここで言う「再生可能エネルギー」とは、太陽光、水力、風力、地熱とバイオマスを指し、原子力発電は含まれていない。

世界の名だたるトップの多国籍企業、大企業が加盟し行動している。

とりわけ、自動車産業の驚異的変貌発展は目を見張るものがある。ガソリン、ディーゼルエンジン車から**電気自動車(EV)シフトへの急速な転換**です。2017年ヨーロッパ諸国が将来のEV移行とエンジン車も禁止を表明。ドイツ議会は、2030年までにエンジン車を禁止する決議案を採択した。イギリス、フランスも2040年までのエンジン車全廃する計画を発表した。世界最大の自動車市場となった中国も将来のエンジン車廃止を打ち出した。また、アメリカ・カリフォルニア州では2018年よりEVと燃料電池車だけがエコカーとして認定され、ハイブリットカーは対象外とされた。

今や世界の潮流は脱炭素、再生可能持続社会に向け、大きく舵を切った。もう止めることはできない。一部トランプ大統領のパリ協定離脱発言、消極的取り組みが報じられても、必ずや成し遂げられるだろう。

温暖化は止められる。**禁煙が世界の常識**になったように、**脱化石燃料、CO₂排出ゼロ社会が常識**になるよう声を上げてゆこう。

●会員企業・団体 (順不同)

北杜市環境事業協同組合 (有)クリーン・トレード 浅川太陽光発電所 山梨自然エネルギー発電(株) (株)カナマル (株)ピー・エス・ワイ 金精軒製菓(株) エコサポート 国土興産(株)	スパティオ小淵沢 イワショー(株) (株)A O B 慧央グループ 公益財団法人キープ協会 富士工器(株)山梨工場 (株)西商店 (株)茅ヶ岳観光バス 保坂環境 原商店	峡北衛生社(有) (有)大泉タクシー (株)塩川クリーン (有)アグリマインド (有)あおとり (有)アカシヤ (株)環境管理コンサルタント 日本小水力発電(株) 生活の森 八ヶ岳	北杜市消費生活研究会 NPO えがおつなげて NPO 森造 八ヶ岳興民館 峡北地区林業研究会 NPO 八ヶ岳コミュニティ放送 「かえるの森へ!」をかんがえる会 (一社)環境管理協会
--	--	--	---

●個人 (順不同)

矢崎 茂和	八巻 美弥子	中山 宏樹	渡邊 正己	進藤 幸夫	福田 良樹
草野 香壽恵	保坂 多枝子	千野 秀一	小池 まき子	中嶋 大	渡部 明美
進藤 眞夫	渡邊 陽一	松本 雅明	斉藤 勝男	深谷 秀和	

**グリーン北社
会員募集!!**

あなたのアイデアを地域の環境保全に活かしてみませんか

■お申し込み・お問い合わせは事務局まで ■年会費 個人 1,000円 団体 3,000円 事業者 10,000円

グリーン北社に関するお問い合わせ

グリーン北社事務局 (北杜市生活環境部 環境課内)

TEL.0551-42-1341 FAX0551-42-1123

グリーン北社 HP <http://www.greenhokuto.jp/>

10th Anniversary
「対応」から「適応」へ

令和元年 10月1 日 発行

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会

GREEN
HOKUTO

